

地域共生型福祉施設

# やすらの里だより

2018年1月 No13

発行者：やすらの里広報委員会

## 新年のご挨拶

特別養護老人ホームやすら苑  
施設長 大谷 克則

皆様あけましておめでとうございます。やすらの里も平成二十五年三月の開設以来、今年で五回目のお正月を無事に迎えることができました。今年では介護保険制度や障害サービスに係る制度の見直しがそれぞれありますが、どちらも大変厳しいものとなりそうです。このような状況の中でも常に思うのは「ご利用者のために何ができるのか」ということです。制度が変わっても現場が変わるわけではありません。そういった中で、私たちができることは、ご利用者の方々がどうすれば安心してご利用していただけるかというのを考えることが一番重要ではないかと思っているこの頃であります。そういう私もこの四月に異動してきたばかりですので、初めてのやすらの里のお正月を迎えることになりましたが、今年も今まで以上に、やすらの里がご利用者、ご家族の方々と地域の皆様にとって、必要とされるような施設になるよう頑張っていますので、今年もよろしくお願いいたします。



## ◎最近のイベント◎

### ・やすらの里 餅つき大会 (12/22)

恒例の餅つき大会も5回目となりました。今年は山添町長様と福祉課・浪江課長様にお越し頂き、皆さんと一緒に、1年元気に過ごせた事への感謝と新しい年への抱負を込めて餅つきをして頂きました。今年のお餅はとっても柔らかく、杵を持ち上げると“ビョーン”とのびて…。とってもつきにくく大変でしたが、このお餅の様に“強いねばり”で何事にも取り組んでいきたいですね♪



## やすら苑

## 〈ちりめんお菓子作り〉

11月25日にお菓子作り（ベビーカーステラ作り）をしました。5名の女性陣が割烹着姿で粉を混ぜ、生地を焼かれました。タコ焼き器に生地を流し込んで出来上がり待たれている間、ホールに甘くておいしそうな匂いがすると「ええ、においがするわ」とマスクを外して匂いがかがれ、待ち遠しそうにされていたのが印象的でした。出来たてのカステラを皆さんにお配りすると、手で摘まんで召し上がられ、「美味しいわ」「ハイカラな味がするわ」と大好評でした。あとという間に召し上がられ、皆さん大変喜んでおられました。



## やすらの旋風

## 〈居宅介護支援事業所〉

皆さんは介護サービスが必要となりケアマネを頼みたいと思つた時、どうしておられますか？「以前お世話になったあの方に」と言われる方や「知り合いから紹介してもらって」と言われる方もあるでしょう。確かにその様にご依頼を頂く事はあります。ですが、ケアマネは担当できる利用者数が概ね決まっており、更に、事業所全体で受け持つ事ができる利用者数が決まっています。それは制度で定められ、人数をオーバーしない様に指導をされているので、事業所はそれを守らないといけません。

また、担当する利用者数が増えてくるとサービス相談や調整、病院との面談や担当者会議など、日時を定めた業務も多くなり、急な新規のご依頼に対応できない状況も増えてきます。

そこで、「今すぐではないがそろそろ退院の話が」や「急ぎはしないけど介護相談がしたい」といった、少し余裕を持った相談、は対応させて頂きやすくなります。もちろん急な相談でも可能な限り対応させて頂きますので遠慮なく連絡下さい。





ワークセンター 花音

《願いがかなう年に》

ワークセンター花音では、昨年も仕事を通して様々なことを感じ、学んだ一年でした。

喫茶花音では、たくさんの方々に地域の方々にお世話になりました。

スタッフの中では、一般の会社等での就職や他の事業所への異動で送り出す人があったり、新たな仲間を迎え入れたりしながら、自分の働き方を考え、協力し合って過ごしてきました。

新たな年を迎え、それぞれの「願い」に向けてとりくんでいきます。



仕事をがんばります

いつも笑顔で😊

スポーツに挑戦したい!

一日一歩でも前へ進む

お金を貯金する!

今年は仲間の自治会の役員がしたい

成人式なので、もっと大人になりたいです

花音のみんなで旅行に行きたい



職員紹介

- ①法人名
- ②所属
- ③氏名
- ④ひとつこと



- ① 与謝郡福祉会
- ② やすら苑 生活相談員 係長
- ③ 牛田 千晴 (うしだ ちはる)
- ④ ご利用者の方が穏やかに生活できるように、他部署との連携を大事にしたいと思っています。またご家族や地域の方がいつでも気軽に立ち寄っていただけるような施設にすることが目標です。

- ① 丹後福祉応援団
- ② ショートステイやすらいろ
- ③ 西原 久美子 (にしはら くみこ)
- ④ 介護の仕事を始めて丸4年になります。利用者さんから学ぶことも多く、日々勉強させてもらっています。常に利用者さんの目線に立ち、一人一人にあった支援の方法を心掛けています。皆さんが笑顔で過ごして頂ける様、頑張ります。



- ① よさのうみ福祉会
- ② ワークセンター花音「厨房」支援員
- ③ 梅垣 光子 (うめがき みつこ)
- ④ 他法人の方からいつも温かく接して頂いてありがたく思います。利用者さんの心も身体も元気でいられるように見守りながら、毎日が楽しく働ける場であるようこれからも頑張っていきたいと思っています。



## サテライトみのり

## 「コツコツとリハビリ」

Kさん(80代男性)は、1ヶ月の入院生活で足・腰が弱り歩くことも困難になりました。退院されてから家の中は四つ這いで移動となり、不自由を感じておられました。知り合いから“訪問リハビリを受けることでまた歩けるようになった”という話を聞いた娘さんの勧めで、訪問看護(リハビリ)が始まりました。

まず、理学療法士がKさんはどれだけ動け、どんな運動が必要なのか評価したうえで、Kさんにあたりリハビリメニューを考えてくれました。看護師が週1回訪問し、体調を確認しながらメニューに合わせて一緒に運動しました。また、自主トレの大切さを説明し、毎日少しずつ運動するように声かけました。頑張り屋でまじめなKさん、毎日コツコツ運動されました。

訪問開始後1ヶ月、手すりや歩行器を持たないと立っていられなかったのに、何も持たずに1分間立えました。昼間はトイレにも歩いて行けるようになりました。

訪問開始後2ヶ月、当初のメニューが3セット余裕でできるようになりました。以前のようにお風呂も一人で入れるようになりました。

こんな短期間で、訪問するたびにどんどん良くなっていったKさん。

- ・自分で毎日コツコツとリハビリできたこと
- ・「畑や藪がどうなっているか見に行きたい」という目標があったこと
- ・奥さんの作る食事を「ご飯がうみやあ」としっかり食べて体力が戻ったこと

この3点が大きな要因であったと思います。コツコツがんばることの大切さを、Kさんから教えてもらいました。理学療法士も早い回復にびっくりし、今よりちょっとハードなメニューを考えてもらっています。

春になったら、『たけのこ掘り』できるといいなあ……



## 地域共生型福祉施設 やすらの里

〒629-2403 京都府与謝郡与謝野町字加悦802番地7

社会福祉法人与謝郡福祉会 特別養護老人ホームやすら苑 特定非営利活動法人丹後福祉応援団 在宅複合型施設やすらの<sup>かせ</sup>旋風  
 施設長 大谷 克則 理事長 三井 真里  
 ☎ 0772-43-2500 Fax 0772-43-2501 ☎ 0772-44-1122 Fax 0772-44-1155

社会福祉法人よさのうみ福祉会 ワークセンター花音 京都府看護協会天の橋立訪問看護ステーション サテライトみのり  
 管理者 平井 弘美 管理者 三宅 佳代子  
 ☎ 0772-44-0022 Fax 0772-42-2022 ☎ 0772-43-0225 Fax 0772-42-0226

## 編集後記

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

昨年11月に、介護職員をめざす方を対象とした研修の講師を務めさせて頂く機会があり、20名の方が熱心に受講しておられました。出来るだけ多くの方が、我々と共に福祉現場で活躍して頂ける事を期待しています。 広報委員 Y.H

